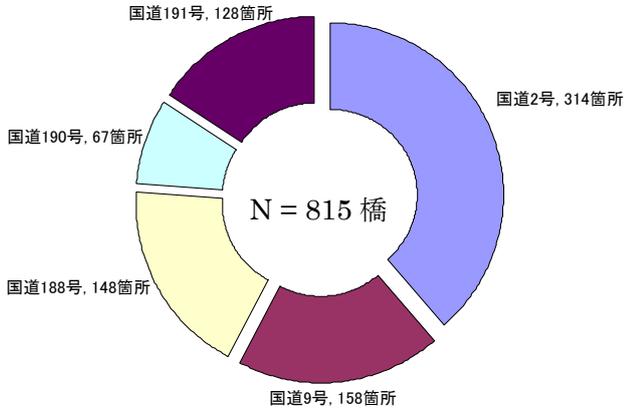


橋梁の現状と
その取り組みについて

平成23年10月
中国地方整備局
山口河川国道事務所

山口河川国道事務所管内の橋梁の現況（参考資料）

1. 山口河川国道事務所管内の橋梁箇所数



場所	路線延長(km)	橋梁箇所数	橋梁数/10km
山口県内	460.3	815箇所	18箇所

(H23.4.1 現在)

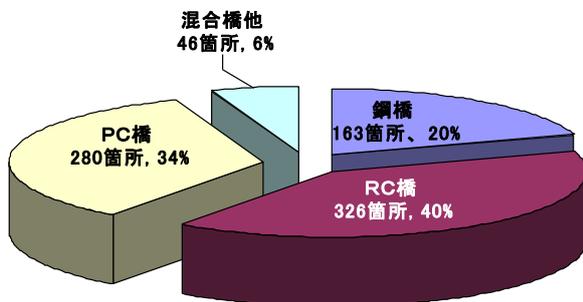
2. 橋梁の現況（上部工使用材料別）

管理橋梁合計		鋼 橋		R C 橋		P C 橋		その他混合橋等	
橋梁 箇所数	延長 (m)								
815	26,193	163	10,749	326	3,334	280	8,963	46	3,147

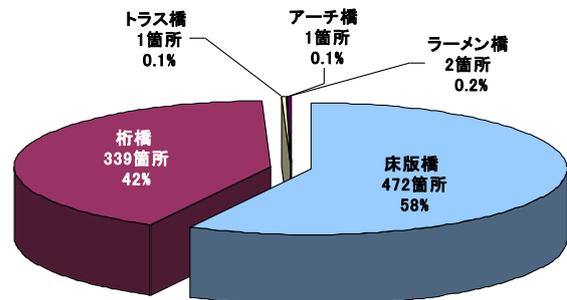
3. 橋梁の現況（構造形式別）

管理橋梁合計		床版橋		桁 橋		トラス橋		アーチ橋		ラーメン橋	
橋梁 箇所数	延長 (m)										
815	26,193	472	7,921	339	17,984	1	48	1	5	2	236

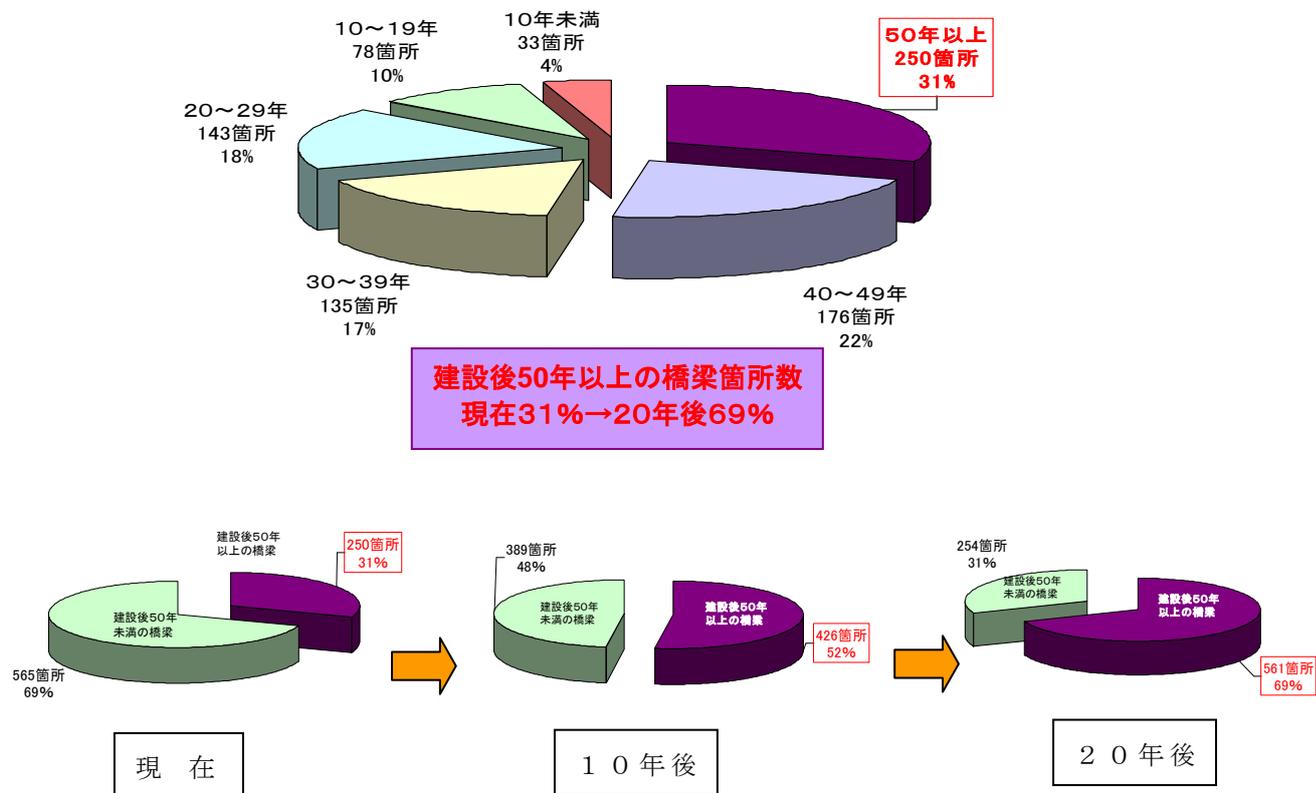
上部工使用材料別



構造形式別



4. 経過年数別橋梁箇所数



- ・ 高齢化した橋梁の割合が20年後には現在の254橋（31%）から561橋（69%）と急増
- ・ 長寿命化修繕計画に基づいた橋梁補修の推進
- ・ 損傷が著しい橋梁（損傷ランクが高い橋梁）の補修を優先的に実施

5. 定期点検の実施状況

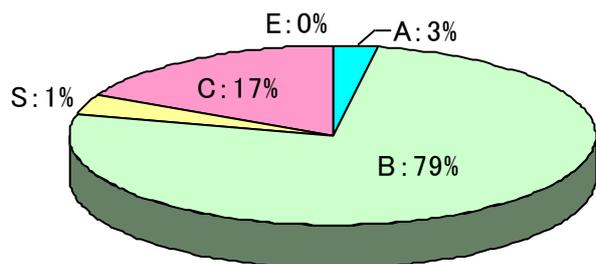
直轄国道の橋梁では、2日に1回の巡回と5年に1回の定期点検により、橋梁の健全性を確認しています。

県名	橋梁数	1巡目点検	2巡目点検
山口県内	815箇所	815箇所	438箇所

6. 対策区別の橋梁箇所数（H22年度末時点）

当事務所管内では、平成23年4月1日現在、橋長2m以上の橋梁815橋を管理しています。

このうち、139橋（約17%）が速やかに補修等を行う必要がある橋梁（C判定）と判定し、その点検・診断結果に基づく早期発見・早期補修の予防保全対策に計画的に取り組んでいるところです。



対策区分	判定内容
A	損傷が軽微で補修を行う必要がない
B	状況に応じて補修を行う必要がある
C	速やかに補修等を行う必要がある
E	安全性の観点から緊急対応の必要がある
S	詳細調査の必要がある
M	維持工事に対応する必要がある

H22 年度末点検済み N=815 橋

※ 対策区分判定について

対策区分判定は、橋梁を構成する部材区分（床版、主桁、橋台、伸縮装置等）、損傷の種類（腐食、ひび割れ等）毎に、部材の重要性、損傷の進行状況、環境状況など様々な要因を勘案し評価しています。